



# なはセン通信

Vol. 39

なは市民活動支援センター

〒900-0004 那覇市銘河 2-3-1

なは市民協働プラザ 2階

(2019年8月 発行)



## 『ロボット・プログラミング体験教室』

### 開催しました!



8月16日に「夏休み特別企画『ロボット・プログラミング体験教室』」を開催しました。

当センターで初めての企画となる“小・中学生向け”の講座でしたが、市内の4年生から6年生の子ども達が参加してくれました。

今年度に利用団体登録いただいた『STEAM おきなわ』さんは、県内各地で「プログラミング教室」を開催されています。今回の共催企画にあたり、プログラミングを子ども達が楽しく学べるプログラムをご提案いただき、無償で講師を務めてくださいました。

迷路の中を、それぞれでプログラムしたロボットを走らせるという内容で難易度が高いように感じ、保護者の方含め心配そうに眺める大人たちをよそに、子ども達はワクワクとした表情でとても楽しそう！独自のソフトを使い、ロボットが走る速度や距離、曲がる速度と角度を入力してプログラム（指示書）を作ります。



プログラミングのルールがわかれば、自分達で最初に作った段ボールの迷路も容易にクリアする…はずなのですが、思い描いていたように動かないロボット達。

その原因を、講師の方と一緒に考えていた子ども達も、途中からは子ども達同士でプログラムを見直し修正したり、提案したり。

途中で設けた10分間の休憩時間は誰一人として休憩せずに最後まで、2時間半の間、集中して取り組んでいました。

迷路のゴールを目指しているのに、急に方向転換したり、逆走したり、ロボット同士が相撲を取っているようなシーンがあったりもしましたが、最後は全員が無事にロボットをゴールへと導く事ができていました。



次年度より、小学校から必修科目となる“プログラミング”は、AIの知識を得ると同時に“自分達で解決策を見つける”“諦めない”“困っている人を助ける”という、協働に大切なことを学べるのではないかと、そんな気持ちになりました。(…the無理やり論。)

未来のプログラマー達が誕生した片隅で、未来のクリエイター達も誕生していました。



今回、STEM おきなわさんの協力で実現した夏休み特別講座ですが、センターとしても情報提供コーナーの新たな活用方法が出来たと実感しました。

### ～お知らせ～

センターで活動されている皆さまの交流の場として活用ください!



## 第31回 Fun日カフェ開催! 8/23(金)12:00~

フードドライブ(ご家庭で余っている食品の寄付)も同時に受け付け!



FUNNACHI COFEE





那覇市民と市職員が語る協働20年

# 協働のNEXTステージを考える

基調講演 元職員が語る、那覇市の協働  
前と後、まちづくりがどう変わったか？

講師 横山芳春氏

(四川外国語大学日本語センター日本語教師、  
元那覇市職員、元民間公募校長)



【開催日時】8/27 (火) 18:30~21:00 (18:00~受付開始)

【募集締切】~8月25日(日) 17:00まで

【応募条件】協働に関心のある市民

【受講料】無料

【応募方法】申込書に必要事項を記入の上、メールかファックス、  
直接来館にてお申込みください。

(なは市民活動支援センター、那覇市役所本庁舎、各支所、各公民館、各図書館等で  
書配布しております)

【お問合せ】那覇市まちづくり協働推進課

TEL/FAX098-861-5024

E-mail C-KATU005@city.naha.lg.jp

お電話、来館でのお問合せは平日9:00~17:00の時間で対応いたします。

## 市民活動広域交流フェスティバル 開催!

宜野湾市・浦添市・那覇市の3市合同!

「持続可能な市民活動のために、必要なことを話し合おう」

8/25 (日) 14:00~17:00 (入場無料)

あなたの、市民活動を教えてください!  
よりよい社会をつくるために互いにシェアしませんか?



持続可能な市民活動のために必要なことを話し合おう

市民活動をしている団体の活動の成果をシェアし、各団体の交流やつながりを深めたためのフェスティバルです。

2019  
8月25日(日)

場所: 沖縄国際大学 (3号館 2B2)

14:00~17:00 (受付 13:30~)

入場無料

- ★市民活動に興味のある個人及び団体
- 2019年8月28日(火)
- 裏面の申込書をメール、ファックス又は担当窓口へ提出して下さい



## 沖縄国際大学より インターンシップ生が来ました!!

8/19~9/1の間、市民活動の現場体験などしながら  
協働について学んでまいります!



法律学科3年  
具志堅 詩乃



地域行政学科3年  
石川 雄也



地域行政学科3年  
山里 美穂



地域行政学科3年  
當山 勇太



社会文化学科3年  
具志 明日香

## なは市民活動支援センター 今後の予定

①8/20 (火) 19:00~

【第4回なは市民協働大学】

『あなたの地域は安全ですか?そして楽しく防災を!』

②8/22 (木) 18:30~

【NPO・市民活動の現場を体験! スタートアップ講座①】

『オリエンテーション・NPOについて学ぶ』

③8/25 (日) 14:00~

『市民活動広域交流フェスティバル2019』@沖縄国際大学

④8/27 (火) 18:30~

【協働のNEXTステージを考える: 基調講演】

『元職員が語る、那覇市の協働

前と後、まちづくりがどう変わったか?』

※①のなは市民協働大学講座以外は、参加者募集中です!

気になる方は館内広報、センターホームページ、フェイスブック等ご確認の  
うえお申し込みください

## 情報スペース&BOOK

2階の情報コーナーには、市民活動やまちづくりの参考になる書物など所有しており、窓口で手続きをして頂くことで貸し出しも行ってまいります。

その他に、協働大学の講座内容(「あなたの地域は安全ですか?そして楽しく防災を!」)に関連した参考書物を市立図書館よりお借りしています。こちらは、期間限定の閲覧のみとなりますが、活動の参考となる書物に出会ってほしいと考えております。

また、助成金情報紹介のコーナーや、他市の市民活動情報等もございます。皆さんの活動に繋がる情報を発信しておりますのでどうぞご利用ください。





「知らないことは人に聞か  
せ、モットーは通してきたわたくし…  
自分で調べると、  
情報源から出られなくなってしまうので  
ですから、教えてください…」

シリーズ第4弾!

## 「何をしているトコですか?」

当センターの3階には、まちづくりに関わりの深い団体が入居し活躍されています。  
そこで、それぞれの団体の活動内容や、今後の目標などをここで紹介していききたいと思います。

### 市民介護相談員なは

—「市民介護相談員なは」とはどういった団体ですか?

平成16年度までは、介護保険制度の任意事業として那覇市による「那覇市市民介護相談員派遣事業」でしたが打ち切りとなり、17年度に県の提案公募型事業を受諾し、県との協働事業で平成18年度に全国でも唯一、市民による介護相談員派遣事業をスタートさせました。代表理事の私と副代表理事の大田さんは、最初からのメンバーで足掛け15年ほど、介護相談員として活動しています。25の介護保険施設、事業所を毎月1回二人一組で訪問して相談活動をしています。ご利用者の不満や満足、心配や要望等の声を傾聴したり、私達介護相談員も五感を働かせて、様々な気づきを事業所に伝え「介護サービスの質の向上や高齢者の権利擁護に寄与する」為に活動しています。



事業所にとっては耳の痛くなることもかなりあると思いますが、お金を払ってでも第三者の視点を取り入れて、質を上げたいと思ってくださる契約事業所はとても有難く、私自身そのような事業所にこそ、親をお願いしたいですね。

ご存じのように、今の介護現場は人手不足がとても深刻で、私達介護相談員の報告に対して「良く分かっているが、中々改善できない」というのが本音だと思います。そのような中でも、どうにか利用者の為に工夫してがんばっている事業所も多々あります。私達もパートナーシップを発揮して、一緒に改善していくための研修事業を強化しています。契約事業所の中には、パーソン・センタード・ケアの視点をベースにした、接遇や虐待防止、組織文化、身体拘束廃止、権利擁護、リスクマネジメント等、1年間の研修計画を委託されているところもあり、昨今は県や那覇市、その他の市町村、最近では企業からも研修依頼が来ています。勿論、一般向けのセミナーにも力を入れています。

—所属されている相談員さんどういった方々ですか?

今年度は15名の相談員が在籍していて、元看護師や現役のケアマネジャー、介護福祉士、社会福祉士、専門学校講師、企業の役員や議員、民生委員等、フルタイムで勤務しながら、又は主婦として家庭を守り、親の介護に奮闘している方もいて、出身も県内外と様々。当法人の活動に賛同して熱意のある方で、約40時間の研修を受講後に資格を得る事ができます。簡単ではないし、続けることは大変ですが、ご利用者や職員の方々から「また来てね」と笑顔で言われると「よし!頑張ろう!」って気持ち。前向きになりますよ。誰もが皆、年を取ったら認知症にもなるかもしれません。それを受け入れる準備をさせて頂いているんだな、と、この頃思うんです。やりがいがある仕事ですよ。



「市民が市民を支援合う。  
それが循環する社会に  
それが当たり前社会に」

仲本しのぶ 代表理事

—団体の今後の目標などありましたら聞かせてください。

そうですね。当法人の一番の課題は、実質的な事務局業務を担う業務執行理事が、私を含めて3名しかいないと言う事と、経営基盤がせい弱と言う事です。常勤の給与所得者は皆無で、ボランティアで会の運営をしていますから月10カ所の相談活動と研修の企画運営、報告書の作成や広報活動を含めた対外的な業務等、忙しさが半端無く、それが業務執行理事のなり手がいない要因かもしれません。山車を担ぐには4名は必要ですので、どうにかもう一人増やして組織体制を整え、研修を充実させて経済的安定を目指し、活動を継続させたい!それが目下の目標です。

やわらかい日差しのような…暖く豊かな気持ちになれる。そんな印象の方でした。記事にするためにお話を伺わなければならないのに、いつの間にか私がお話を聞いてもらっていました…(恥)。





# 助成金等情報



## 『第26回ボランティア活動助成』

**募集期間**：2019年9月15日（日）当日消印有効

**内容**：助成額上限は30万円（1団体あたり）総額4,500万円

**応募課題**：①高齢者、障がい児者、子どもへの支援活動及びその他、社会的意義の高いボランティア活動  
②地震・豪雨等による大規模自然災害の被災者支援活動

**応募資格**：ボランティア活動を行っているメンバーが5名以上で、かつ営利を目的としない団体活動を行っているメンバーが5名以上で、かつ営利を目的としない団体（任意団体、NPO法人、財団法人、社団法人、大学のボランティアサークル等）

【お問合せ】公益財団法人 大和証券福祉財団 事務局 TEL：03-5555-4640 FAX:03-5202-2014

## 『子どもたちの“こころを育む活動”大募集』

**募集期間**：2019年9月27日（金）17時応募締切

**内容**：全国大賞50万円（1件）優秀賞20万円（5件程度）

**助成対象**：家庭、地域、学校、企業などが、それぞれの立場で子どもたちのこころを育むために献身、努力している活動を募集します

- 家庭、地域、学校、企業などのさまざまなグループで、継続している活動
- 子どもたちに持ってほしい“3つのこころ”が育まれる活動
  - ①自分に向かう“こころ”…自立心や自尊心を確立し、人間らしさや自分らしさを理解するこころ
  - ②他者に向かう“こころ”…人と人とのかかわりを大切に、他者を思いやり、傷つけないこころ
  - ③社会に向かう“こころ”…さまざまな価値観を尊重し、社会と自分の関係性を理解するこころ

**結果発表**：12月（予定）に、こころを育む総合フォーラムのホームページにて発表し、入賞団体へは直接文書にて通知します。表彰式は2月頃に開催予定です。

【お問合せ】公益財団法人 パナソニック教育財団 TEL：03-5521-6100 FAX：03-5521-6200

※最新の情報や詳細は、各お問合せ先の応募要項を必ずご確認ください。



なは市民活動支援センター

お問合わせ なは市民活動支援センター  
〒900-0004



那覇市銘苅 2-3-1 なは市民協働プラザ 2階  
TEL：098-861-5024 / FAX：098-861-5029  
メール：C-KATU005@city.naha.lg.jp

### 会議室 料金一覧表

会議室①	84人	¥1,300/1h	¥400/1h
会議室②	36人	¥650/1h	¥200/1h
会議室③	45人	¥650/1h	¥200/1h
会議室④	18人	¥200/1h	¥100/1h
会議室⑤	15人	¥200/1h	¥100/1h
会議室⑥	15人	¥200/1h	¥100/1h
会議室⑦	12人	¥200/1h	¥100/1h
会議室⑧	24人	¥250/1h	¥100/1h
研修室①（和室）	16人	¥200/1h	¥100/1h
研修室②	17人	¥200/1h	¥100/1h

### 印刷機 使用料

白黒・A3サイズ以下	¥1/枚
カラー・A3サイズ以下	¥4/枚

※内容確認のため、原則として印刷物の一部提出をお願いしております。  
※印刷用の用紙もお持ちください。  
※USB等のメディアからは直接印刷はできません。

